

事例4

株式会社丸英でんき (青森県五所川原市)

早めに職場で共有し、
身体に負担のある業務は同僚が配慮

立ち仕事や商品の運搬等、身体に負担のある業務もあるが、重い商品は同僚が運ぶなど、職場全体でフォロー。通院休暇は規定があり、必要に応じて付与、通勤緩和や休憩時間・勤務時間短縮・休業については申し出があれば変更している。

卸売業・小売業



管理部 部長 吉崎 和行さん(右)
第一営業部 櫻井 美香子さん(左)



事業内容:

家電製品販売。
電気、上下水道、
消防設備等の工事。
電設資材卸。

正社員数:

女性11名、男性48名、
計59名

契約社員・パートタイム・

派遣社員数:

女性1名、男性1名、
計2名

(2018年12月時点)

過去5年間の妊娠・出産者数、

産休・育休後復帰者数:

妊娠・出産者数2名、
産休・育休後復帰者数2名

設立年月:

1952年11月

URL:

<http://www.marueidenki.com/>

女性労働者の職務内容:

家電製品の販売・営業職



妊娠中、体調のすぐれない時はレジの中で座らせてもらったこともある。休憩時間は、休憩室のソファで横になって体を休ませることが多かった。

職場環境の整備と効果(人事・労務部門担当者から)

社内制度はセンターファイルに置き自由に確認できる

社内制度はセンターファイルに置き自由に見られるようにしているが、半期毎の決起集会でも周知している。社内体制は、管理部の部長(男性)と担当者(女性)がいて、担当者がいるような相談を受け対応していた。社長が女性であり女性社員への気遣いもあった。

通院休暇は規定があり、必要に応じて付与し、通勤緩和や休憩時間・勤務時間短縮・休業については申し出があれば変更している。

同じ職場で働く仲間がフォローしあえる信頼感をもっている

社員は担当商品が決まっており、お客様から詳しい説明を希望されると担当者が対応するようにしているが、同僚が、出産・育児に限らず急な休み等でもフォローし合えるようにしている。妊娠・出産での欠員は補充せず、現場で業務の見直しや分担替えを話し合い対応している。現場で助け合い、うまく回している。

妊娠中の仕事上の工夫・職場からのサポート(女性労働者から)

つらい時は同僚が助けてくれた

接客は基本的に立ち仕事で、お腹が張ることや出血もあった。安定するまで通院回数も多く、健診以外の通院は同僚に迷惑をかけると思い心苦しかった。休憩時間は休憩室のソファで横になり身体を休めた。工作中にマスクを付けさせてもらったり、どうしても接客で立ち続けられないとき、以前からお付き合いしているお客様には正直に伝え、逆に気を使ってもらったこともあった。

早めに産休に入るときの温かい言葉があった

早めに上司に報告した。上司から朝礼で、皆に言ってくれ、同僚は重いものの運搬をしてくれたり、つらい時に代わってくれた。早めに産休に入る時も「仕事は大丈夫だから、元気な子を産んで」と言ってもらい、ありがたかった。体調が不安な時は同僚や先輩に相談して不安を解消できた。先輩は無事出産して育てているので、アドバイスは心強かった。

希望すれば柔軟に対応してくれたのがありがたかった

妊娠中は体調が安定しなかったもので、同僚に迷惑をかけることも多かったと思う。社長が女性ということもあって、女性社員には気遣いがあり、すごくありがたくて感謝している。

会社はあまり制度等決まっていないが、希望すれば柔軟に対応してくれた。母健連絡カードを知らなかったので、診断書を書いてもらったが、次に必要な時はカードを使いたい。

今後に向けて

社員はみな個別に担当商品を持ち、お客様から詳しい説明を希望されると担当者が対応している。長く勤務するほど商品知識も深くなり、お客様からの信頼も厚くなるため、会社としても復職することを待っている。